

とっとり 県議会だより

令和5年9月定例会
(2023)

No.046

Sep.
9月
議会

主な記事 Contents

代表質問	2~3p
一般質問	4~7p
被災地視察	7p
常任委員会	8~9p
議決結果	10~11p
高校生議会	12p
お知らせ	12p



9月定例会の概要

(9月19日～10月13日)

開会日の9月19日に、平井知事から総額341億7千万円余の令和5年度鳥取県一般会計補正予算（議案第4号）など35議案が、また10月2日に、人事議案1議案が追加提案されました。

代表質問は鳥取県議会自由民主党、会派民主が行い、一般質問には20名の議員が登壇。県政の諸課題について知事らと活発な議論を展開しました。

議決の状況

- 【知事提出議案】 ◎予算議案<可決3件> ◎条例議案 <可決6件>
◎人事議案<同意1件> ◎その他議案<可決23件、継続審査3件>
- 【議員提出議案】 ◎決議 <可決3件> ◎意見書 <可決4件>
【陳情】 <採択1件、趣旨採択2件、不採択4件>

8月臨時会の概要

(8月30日)

議員報酬等に関する条例及び政務活動費交付条例を改正するため臨時会を開催し、全会一致で可決しました。あわせて、台風第7号被害の応急復旧対策に係る補正予算（総額35億5千万円余）の専決処分を承認しました。

議決の状況

- 【知事提出議案】 ◎予算議案 <承認1件> 【議員提出議案】 ◎条例 <可決2件>

表紙の写真

とっとり手話フェス LIVE2023

鳥取県手話言語条例制定10周年を記念して、9月17日、「とっとり手話フェスLIVE2023」が鳥取市のとりぎん文化会館で開催されました。

音楽やダンス、お笑いなどを手話で表現し、手話とエンターテインメントが融合した鳥取県らしいステージパフォーマンスで、約1,400人の観客を魅了しました。

★議員別の賛否の状況は、10、11ページでご覧いただけます。

代表質問

鳥取県議会自由民主党



広谷 直樹 議員
選挙区 岩美郡



激甚化する豪雨災害の対応

問 8月15日に最接近した台風7号の被害は風水害対策予算としては過去最大規模になった。老朽化が懸念されるインフラ施設の抜本的な改良復旧への今後の対応は。

答 早期の改良復旧について、今、国側と協議をしている。これ以後の災害は、この災害から教訓を得て、総合的な復旧・復興をチャレンジしていくべきと考えている。

持続可能な医療提供体制

問 自治体病院は、地域が求める医療ニーズと病院経営が両立できる最適解を求める必要があるが。

答 少子高齢化の中、自治体病院が果たす役割を視野に入れ、最適解を盛り込んだ保健医療計画づくりにしていきたい。

外国人労働者の受入環境

問 外国人労働者「特定技能2号（※1）」の対象拡充は、本県産業の人材不足を補う光明である。受入体制の現状と見通しは。

答 我々も、従来より踏み込んだ外国人との共生社会づくりをする必要があるのでは。経済界も日本語研修に関わる動きもある。

米子ソウル便の定期就航

問 定期便の再開にあたり、受入体制の再構築や二次交通対策の現状と取組は。

答 宿泊スペースを外国人対応にしたり、翻訳ソフトでの観光紹介体制が整えられた。米子鬼太郎空港からのシャトルバスの運行や、プロモーションの冊子作成など、「おもてなし体制」を整えていく。

山陰海岸ジオの再認定審査

問 昨年の再認定審査は「2年間の条件付き」だ。来年の完全再認定取得に向けての対応はどうか。

答 10月に日本ジオパーク委員会の調査団が来訪する。年明けに、

ユネスコに提出するレポート作成に向けて、成果がまとまるよう精力的に調整を図っていきたい。

町道陸上中央線の整備

問 昨年から全面通行止めになっている道路整備事業は、県の代行事業で実施予定である。進捗は。

答 基礎的な調査を進めながら、過疎代行（※2）の可能性を国と調整している。早く交通開放になるよう県としても努力をしていきたい。

酪農業の存続への対応

問 将来にわたって酪農経営が成り立つような制度設計を国に要望し、経営危機ともいえる現状に対しての経営支援が必要であるが。

答 酪農家の経営が不安定なので、一定の所得補償的な制度の導入を一貫して国に求めている。今後も持続可能な経営になるよう対策を継続してまいりたい。

食肉センターの整備

問 各地で牛肉の輸出促進の取組が盛んになっている。将来、施設の更新を検討する際、欧米への輸出基準を満たした認定施設を本県と島根県の共同で整備することも選択肢の一つであると思うが。

答 施設の整備について関係者で輸出対応を含めて検討をしている。

る。共同での整備も選択肢の一つであるが、島根県はすでに大規模改修しており、難しいのでは。

小規模県立高校の存続

問 県立高校は地域の中で担う役割も大きく、再編・統廃合でなく地域外から生徒を呼び込むことを含め、存続させることを前提に、いかに学校の魅力化を図っていくかを優先していくべきと思うが。

答 （教育長） 統廃合ありきでなく、地域になくならない学校、生徒が一定規模の学校の中で切磋琢磨し、様々な意見をぶつけ合い高まっていく高校生の姿がある新たな学校づくりを目指す。

誰も取り残さない不登校対策

問 不登校の児童生徒が年々増加している。市町村、教育委員会、知事部局が連携を図り、誰一人教育の機会から取り残されることがない体制を整える必要があるが。

答 フリースクールの応援をしながら、子ども達の居場所として学校に代わる場所というのをも位置付けていく。授業料支援の在り方も関係者ともよく協議する。
答 （教育長） 教育委員会サイドだけでなし得ることではない。様々な関係機関との連携を深め、取り組む。

（※1）特定技能2号…長年の実務経験等により身につけた熟達した技能を要する業務に従事する外国人向けの在留資格

（※2）過疎代行…基幹的な市町村道や下水道事業の整備について、過疎地域自立促進計画に基づき、県が市町村に代わって行うことができる制度

代表質問

会派民主



伊藤 謙二
選挙区 東伯郡 議員



国と地方の協議の場

問 地方分権改革については、何度か知事と議論してきたが、国と地方の協議の場については、地方側の要望に基づき開催されるよう、制度面での整備について要望すべきではないか。

答 正式な制度面での分科会の活用、要求、それと様々な国、地方の意見交換の場の設定を両面で国に求めている。

将来のパンデミックに備えて

問 新型コロナウイルス感染症は5類に移行されたが、将来に備え、どこかの時点で総括し、記録を整理することが必要ではないか。

答 将来に生かされるものでもあり、総括をし、次の感染症パンデ

ミックに備える材料、土台とする。国全体の総括と並行して、県独自のやり方で総括させていただく。

地方財政の将来

問 リーマンショック後の危機対応モードから平常モードへ切り替えられた時の骨太方針で、歳出特別枠が大きく削減された苦い経験がある中、令和3年度の骨太方針では、コロナ後の地方財政の在り方が明記されていないが。

答 6月の骨太方針では分からないので、一般財源確保を訴えねばならない。年末の予算編成に向け、県として度重ねて働きかける。

海面上昇対策

問 温暖化等による海面上昇を心配。米国に上陸した強力なハリケーンでは2時間で海面が3m上昇した。将来の気温上昇を想定し、海岸の浸食対策や内水氾濫対策、高潮による避難対策やハザードマップ追加を検討すべきでは。

答 海面が20cmほど上昇しているといわれている。報告がある。砂浜海岸が6割の本県は深刻な問

題になり得る。海岸保全対策を開係機関と議論していく。

水田活用直接支払交付金

問 5年に一度は水張りできない水田は畑地と見なされ、転作奨励金の対象外となり、耕作放棄地が増えることが心配。水田活用の水張り問題に対する見解・対策は。

答 県内の地域農業再生協議会から懸念の声が寄せられている。現場に影響が大きく、非常に重大な問題であると国に幾度か要望しているが、一度決めたルールの撤回はできないと要望の度に国から回答されている。引き続き国に再度要望していく。

二巡目国体に向けた選手強化

問 わかとり国体では天皇杯、皇后杯を獲得したが、その裏では成年選手の確保等大変な努力があった。しかし今や現実には厳しいものがある中、小・中学生にとっても大きな励みや目標になる少年の選手強化に力を入れるべきでは。

答 国民スポーツ大会、障がい者スポーツ大会を地元で開催する意義は、点数を稼ぐだけが目的ではない。真に県民が誇れるような、後々にレガシーが残るような人材育成、スポーツ振興を議論しながら前回とは違った国体の在り方を

模索していきたい。

高校の少人数学級化

問 高校の本来の目的は生徒の将来の進路希望を叶えてあげること。機械的に卒業させることはあってはならない。安易な学級数削減や学校の統廃合ではなく、少人数学級により生徒一人ひとりに向き合い、生徒の将来に視点を置いた学級定数を検討すべき。

答 (教育長) 生徒が多様化している、あるいは、特別な支援を要する生徒が増加している中、非常に有益な手段・方法である一方、財政面の課題もある。大きなメリットと課題があり、慎重に誠実に検討してまいりたい。

知事の働き方改革

問 今の世の中、全てが働き方改革。政治家に働き方改革はなく、働き方改革をしていると落選すると言われる。しかし、知事も年齢的に心配。少し自らの働き方改革をされたほうがいいのでは。

答 職員に負担がかからないよう努めてきたが、今後よく考えていきたい。私も62歳になった。睡眠が取れるように取れないようなところもある。皆さんも、あまりこの行事に出るといけないようにお願いを申し上げたい。

代表質問

一般質問

常任委員会活動

議決結果

一般質問

会派正式名称

【自由民主党】

鳥取県議会自由民主党

【会派民主】

【会派民主】

【公明党】

公明党鳥取県議会議員団

答弁者説明

答弁者は、記載のもの（各部局長の答弁も含む）。教育長、警察本部長、は知事の部局ではないため、別に表記した。

9月定例会では、20人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。※掲載に時間がかかる場合があります。

鳥取県議会

検索



前田 伸一
議員



選挙区 鳥取市
会派 公明党

災害・河川対策、鳥取砂丘利活用、訪問介護

問 ①出荷時期を控えた梨園の災害復旧は②集落管理の小規模飲料水供給施設に復旧支援制度を③塩見川河川整備を遅滞なく④大井手川放水路の河川環境改善を⑤砂丘東側のランドデザイン見直しをどう進めるか⑥中山間地での持続可能な訪問介護サービスを。

答 ①しっかり守る農林基盤交付金活用を市町村に働きかける②国への要望を検討③遅滞なく進める④今後の維持管理や活用を地元と協議する⑤鳥取市や関係団体とワーキンググループを設置し協議する⑥検討会を立ち上げたい。



福田 俊史
議員



選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

台風被害を契機とした県土強靱化について

問 今回の台風7号被害を契機に抜本的な県土強靱化を提案したい。建設業界と連携し現状回復ではなく改良復旧を図るなど、計画的に県土を増強していく取組を進めてはどうかと考えるが知事の所見は。

答 国土の強靱化を県版でやるという発想が建設業に携わる皆様との関係でも大切。鳥取県の国土強靱化地域計画をこの際、今回の教訓を含めて見直してみてもどうか。今回の被災を契機に見直すべきは見直し、将来を見渡したような強靱で安心できる県土づくりを進めていきたい。



前住 孝行
議員



選挙区 八頭郡
会派 無所属

①登山道整備 ②部活動地域移行

問 ①位置情報データを活用すれば、登山者数の把握、登り始める場所や休憩場所なども分かる。データの蓄積で遭難の傾向も分かれば、案内看板の設置などの対策も打てるのでは②文化部活動の地域移行の現状と今後の対応方針は。

答 ①昨年度からKDDIと提携しており、登山者の動きの情報をトレースできる。標識設置など、今後の登山道整備に活用していきたい②（教育長）当面進めるべきは地域連携型（※）で、地域の指導者を発掘し、配置増に向けて、取組を進めたい。



東田 義博
議員



選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

台風第7号からの早期復旧、復興等について

問 台風第7号の災害復旧をいかに取り組むか。

答 一日も早い復旧、復興に全力を挙げて取り組む。河川や道路の災害復旧では強靱な工法を検討し、改良復旧も検討している。農地・農業施設災害の復旧は年内に査定を終えて、地元自治体、JA、農業者の皆さんと協力して来シーズンの営農に備える。

問 県内ダムの安全対策をいかに取り組むか。

答 佐治川ダムで緊急放流を行ったが、計画的な浚渫の実施と運用基準の地元周知、避難行動の指導に努める。



島谷 龍司
議員



選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

第2期総合計画とシン・子育て王国の取組

問 人口減、少子高齢化が顕著な本県が持続可能な地域社会であるために重要な第2期総合戦略の達成状況と評価は。

答 約95%達成済みなしは順調に推移。現在の達成状況、政策課題を分析し鳥取創生チーム拡大会議と協議し、新たな計画に結びつけたい。

問 子育て王国、子育て先進県として全国の一歩先を行く更なる取組が必要だが。

答 子育て施策の推進には現場主義が本来であり、子育て世代の意見を中心にシン・子育て王国のプランを作り直して世に出していきたい。



前原 茂
議員

選挙区 米子市
会 派 公明党



バイオマス発電について

問 米子バイオマス発電所は、今年に入り4回の火災事故を起こしている。また、木質ペレットが原因の火災が全国で多発している。知事の見解を伺う。

答 9月9日の米子バイオマス発電所の火災は非常に衝撃的であり、全国にも報道された。社会問題として、国に対して、木質ペレットの取り扱い、バイオマス発電の基準について、安全対策を取ってもらう必要がある。これは経済産業省、あるいは消防庁も含めて申し入れるべきなのではないかとも考える。



坂野経三郎
議員

選挙区 鳥取市
会 派 会派民主



依存症対策・最低賃金 スポーツ競技の支援

問 県内54万人中、ギャンブル依存症が疑われる方は、8千人。通院者は令和元年実績で僅か7名。啓発が必要だ。

答 依存症の治療が市民権を得る世の中にする。

問 最低賃金は10月5日から900円となる。中小・小規模事業者が賃金アップできるように県として後押しすべき。

答 新年度に追加策も考える。

問 縄跳びやドッジボール世界大会に出場した生徒に支援が無い。県として応援すべき。

答 可及的速やかに要綱を見直し、文化芸術活動を含めて応援するスキームを整備する。



河上 定弘
議員

選挙区 米子市
会 派 自由民主党



中山間地域の医師不足 解消への取組

問 少子高齢化・人口減少が続く、中山間地域の自治体病院などの医師不足が更に深刻になると予想される中で、新しい専門医である“総合診療医”が、医師不足解消に向けた最適解であると考えている。総合診療医の育成・確保に向け、全国に先駆けた取組を展開してはどうか。

答 総合診療医が、地方にとって非常に重要であるというPR活動等を行うとともに、育成を担う寄附講座である鳥取大学医学部地域医療学講座の支援・拡充を新年度予算に向けて整理していきたい。



尾崎 薫
議員

選挙区 鳥取市
会 派 会派民主



①福祉審議会②支援員 配置③男性への性暴力

問 ①福祉審議会部会はR3年の児童施設の児童自死事案を新たな視点で検証するよう提案。どう対応するか②特別支援学級（3学年以上の複式学級）や大規模校に支援員増を③男子や大人に性被害の知識がない。関係部署が協力し研修・学びの場をつくるべき。

答 ①分科会の審議に全面的に協力し、外の視点を入れ検証が円滑に進むよう対応する②（教育長）少しずつ配置を増やし、特別支援学校との人事交流等で困難を解消したい③所管を人権社会推進局に改め、機動力を広げたい。



市谷 知子
議員

選挙区 鳥取市
会 派 無所属



災害、物価高、マイナ 問題、原発、教育費用

問 ①台風7号災害復旧は県上乗せ支援で農家負担ゼロに②物価高への病院・福祉施設、生活困窮者の支援継続③マイナ保険証は誤登録8,441件。健康保険証廃止やめよ④島根原発1号機廃炉第2段階。なぜ知事は第1段階同様、議員全員協議会開催求めないのか⑤県育英奨学資金は生活困窮者に返済免除を⑥部活バス代補助増額と概算払で負担軽減を。

答 ①市町村が決める。農家負担軽減は働きかけない②求めたい③求めない④私は預かり知らない（教育長）⑤今考えていない⑥充実に努める。



山川 智帆
議員

選挙区 米子市
会 派 無所属



地球と人にやさしい 医・食・住について

問 ①島根原発廃炉に関する放射性廃棄物を中電が産廃廃棄する可能性は否定できないとの発言に対し、淀江の産廃の管理を考えた上で中電に返答を②県内の各種試験場で薬草栽培を希望する地域の土壌調査、肥料の指導を③一般家庭の雨水タンク助成を④自転車通学路の原則車道通行ではなく歩道を併用する検討を。

答 ①県内に持ち込まないとの県議会の意見を条件付の一項目にする②現場の要望あれば是非対応したい③県も促進策を検討④（警察本部長）現地点検し関係者と協議する。



内田 隆嗣
議員

選挙区 米子市
会 派 自由民主党

コミュニティ・スクール と地域の活性化

問 子ども会やPTAを通して、子育て世代が地域活動に関わることは意味が大きい。地域コミュニティの活性化における学校が果たす役割という視点は、コミュニティ・スクールの成功の鍵となると考えるが、知事の所見を伺う。

答 米子市の尚徳地区の五千石小学校は、安養寺に伝わる伝承を劇にしたり、230年余、地域の力で造った佐陀川用水の物語を、地域の歴史を検証する取組をされている。コミュニティ・スクールの活性化は、地域の成功に結びつくのではないかと考える。



中島 規夫
議員

選挙区 鳥取市
会 派 自由民主党

災害の復旧・復興対策、 ゼロゼロ融資の現状

問 ①復旧・復興対策について、入札不落札対策、資材確保、佐治川ダムのハード対応の検討など課題が散見されるが、限られた期間で多くの現場を完了できるのか②ゼロゼロ融資の県の現状と今後は。

答 ①人命や通行への対応を優先しつつ、柔軟な入札制度措置、必要資材の有効活用を検討するとともに、今後のダムの在り方等是有識者の意見を伺いながら検証し対策を考えたい②関係団体とできるだけ早く協議の場をセットし、新年度以降の対策の検討を開始したい。



村上泰二郎
議員

選挙区 西伯郡
会 派 会派民主

子どもたちの命を守る 教育現場の実現

問 ①鳥取県内の教育現場でいじめやその他の理由によって子どもが自ら命を絶つ状況があることを重く受け止め、子どもの命を預かる責任の認識を②子どもの命を守る教育現場の人員確保を③心身の健康を守るための核となる養護教諭の追加配置を。

答 (教育長) ①子どもたちの学びや成長、その根幹にある命を大切に守り抜く決意である②子どもの学び、教育、指導のために必要な体制づくりをする③養護教諭の存在を中心としたチームづくりを進めていく。



語堂 正範
議員

選挙区 東伯郡
会 派 自由民主党

高校の在り方について 産み育てやすい環境

問 高校の在り方を検討する中、地域活性化に資する高校をどのように考えるのか。

答 (教育長) 高校は地域に大きな活力をもたらす、在り方を慎重に検討していく。

問 寮整備を市町村・私立高校と協力して行っはどうか。

答 (教育長) 重要な視点。様々な形を工夫し検討を進める。

問 プレコンセプションケア(※)など助産師会の活動は。

答 献身的に御尽力を頂いている。産後ケアでも活躍しており、非常に評判がよい。国の制度見直しのタイミングなので、支援を働きかける。



西村 弥子
議員

選挙区 米子市
会 派 会派民主

①更年期・生理休暇 ②県立高校部活動統廃合

問 ①取得率の低い県職員の生理休暇制度を見直し、男女とも更年期休暇5日以上かつ不調時も休暇取得できるようにしては②倉吉東高の一部廃部決定と学校の対応について所見を。廃部を公正に考え直し、地域の合同クラブ等の方策や取組を今から考えるべき。

答 ①伝統ある生理休暇は置きつつ、今後更年期休暇は実態に即した適切な制度へ成熟させたい②関係者と協力・相談し、県全体で挑戦できる受皿も考えたい。(教育長) 丁寧な説明が必要で、できなかったのは反省点。声を伝える。



鳥羽 喜一
議員

選挙区 倉吉市
会 派 自由民主党

人口減少社会における 本県の取組について

問 県中部は同じ生活圈・経済圏にも関わらず、各基礎自治体が独立してその機能を重複しながら行政活動を行っており、非効率な状態が続いている。広域行政組織を強化させることで、上下水道の広域化等、人口減少社会に対応した筋肉質な組織を構築することは出来ないか。

答 うまくいけば、下水道の広域化は来年度には具体的な検討に入っていくことになる。地方自治として、県は市町村の後見役という立場ではあるが、この問題意識を受けて協議の促進を図っていく。



浜田 一哉
議員

選挙区 境港市
会 派 自由民主党

鳥取県における 教育行政の諸課題

問 ①教育活動をサポートする国の予算170億円は、教員の負担軽減の抜本的改善になるのか②教員が足りなくて学校が回らないとの声がある。現状把握をすることが必要ではないか。

答 (教育長) ①外部の力を学校現場に入れ、先生方の仕事を整理、分担することで成果を上げる②現場の声に耳を傾ける。抜本的な対策とは何なのか、原点は現場の声や子どもたちの思いである。しっかり受け止め、この働き方改革が具体的、現実的になるよう、取組を進めていく。



入江 誠
議員

選挙区 東伯郡
会 派 自由民主党

地域貢献活動休暇 消防団と自主防災拡充

問 地域貢献活動休暇が推進されるべきと考えるが、条例改正に向けた知事の考えは。

答 県民や地域と協働してやっていく、そういう県庁像をつくっていききたい。

問 消防団員は人口減少に伴い全国的に減り続けているが、いかに存続させるべきか。

答 消防団活動の協力事業所を認証して、消防団員が活躍しやすい環境を整える。

問 自主防災組織は、拡充に向けた取組と実態との乖離が懸念されるが、知事の認識は。

答 質を高めることに重心を置きながら対策強化を進める。



福浜 隆宏
議員

選挙区 鳥取市
会 派 無所属

①暑さ対策②長野方式 ③芸術振興④入試配慮

問 ①夏場の公共工事を夜型へ。県所有体育施設のエアコン代減免を②地域課題を県が集約し、業者が参入しやすいよう練り上げて公募する長野方式導入を③ジュニア県展等で評価された才能をさらに伸ばす仕組みを④問題文を読み上げるA I 自動音声ソフトの活用を高校入試の配慮事項に加えることで、中学で普及を。

答 ①建設業界と協議。エアコン代は減免か助成かを整理②長野方式も参考にして展開③海外出展や武者修行など伸びる子を支援する仕組み構築④(教育長) 普及すれば対応。

議員辞職のお知らせ

平井伸治氏(鳥取市選挙区)は8月31日付けで議員辞職しました。

台風第7号による被災現場視察及び国要望

本州を縦断した台風第7号による記録的な大雨は、県東中部を中心に河川の氾濫や道路の寸断など多くの被害をもたらしました。

8月19日、谷防災担当大臣が鳥取市佐治町と八頭町の道路崩落現場を視察し、県選出国會議員や県議会の浜崎議長らとともに県及び市町から被害状況の説明を受け、視察後、平井知事、県議会の正副議長、鳥取市長、八頭町長らと災害復旧等について意見交換を行いました。

同日、平井知事ら県の自治体代表者は、谷防災担当大臣に対して、激甚災害の早期指定や災害復旧への財政支援、観光・農産物への風評被害防止などの緊急要望を行いました。



現場視察(八頭町福地)



鳥取県自治体代表者会議・鳥取県地方分権推進連盟からの要望書を手交

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審議に加え、閉会中も継続調査や県内外調査、勉強会などの活動を行っています。

農林水産商工 常任委員会

委員長

副委員長



鹿島 功
(自民) 西伯郡



鳥羽 喜一
(自民) 倉吉市



浜崎 晋一
(自民) 鳥取市



尾崎 薫
(民主) 鳥取市



坂野経三郎
(民主) 鳥取市



浜田 一哉
(自民) 境港市



福浜 隆宏
(無所属) 鳥取市



松田 正
(無所属) 米子市



前原 茂
(公明) 米子市

◎9月定例会審査結果（議案）

台風第7号による県営発電所及び農林業関係被害の復旧費や、倉吉市内の工業団地への企業の新増設決定に伴い、同市が行う団地整備に対する支援費等を含む議案2件を審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

◎県外調査（8/9～10：長野県）

IT産業・IT人材の集積や育成・確保の計画について、長野県庁及び中核企業において進捗・成果等を調査した。農業分野では、JA佐久浅間で、ペレット堆肥の生産・販売状況を伺ったほか、若手農業経営者の育成や生産・販売の効率化等に取り組む農業法人において、同法人の研修卒業生でもある鳥取県内の若手生産者や、現役の研修生を交えて意見交換を行った。

◎出前県議会・県内調査（9/4）

出前県議会では「有機農業、特別栽培等の現状と課題、今後の発展について」をテーマに、生産者・米穀店・農協・行政が活発な意見交換を行った。県内調査では、県農業試験場が行っている品種育成や栽培技術の開発試験の現状、田んぼダムのモデル実証等について、試験ほ場で現地調査を行ったほか、台風第7号の被災水田において生産者から被害状況を伺った。



台風第7号被災水田での現地調査（鳥取市河原町）

地域県土警察 常任委員会

委員長

副委員長



安田 由毅
(自民) 境港市



東田 義博
(自民) 鳥取市



斉木 正一
(自民) 米子市



伊藤 保
(民主) 東伯郡



銀杏 泰利
(公明) 鳥取市



中島 規夫
(自民) 鳥取市



川部 洋
(自民) 倉吉市



前住 孝行
(無所属) 八頭郡

◎9月定例会審査結果（議案）

国際航空便の運航拡充支援などの観光振興策のほか、台風第7号災害からの本格復興に向け、河川や道路の復旧工事や冠水危険箇所への監視カメラ新設を含む一般会計補正予算等15議案を審査し、全て原案のとおり可決すべきものと決定した。審査に際しては、北谷川砂防堰堤や佐治川の護岸崩壊現場などを視察した。

◎島根原発廃炉計画に関する調査活動（9/19）

島根原子力発電所1号機の廃止措置計画変更について、中国電力から県への事前報告を受け、同社を招致して説明を求めた上で、米子市・境港市の意見を踏まえた県の回答案を妥当なものと認め、県民の不安に寄り添い安全を第一義とすることを中国電力に強く要請するよう執行部に申し入れた。

◎県外調査（8/8～10：富山県）

人口減少の進展により、公共交通の維持・存続が喫緊の課題となる中、8月に富山県朝日町を訪問し、マイカーを活用した共助型公共交通の先行事例について調査・意見交換を行った。



台風第7号で被災した県道麻生国府線の視察（八頭町）

常任委員会活動

総務教育 常任委員会

委員長



諸堂 正範
(自民) 東伯郡

副委員長



入江 誠
(自民) 東伯郡



浜田 妙子
(民主) 米子市



藤縄 喜和
(無所属) 鳥取市



内田 隆嗣
(自民) 米子市



野坂 道明
(自民) 米子市



山川 智帆
(無所属) 米子市



村上泰二郎
(民主) 西伯郡

◎ 9月定例会審査結果（議案、陳情）

職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び県費負担教職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例のほか一般会計補正予算を含む6議案について慎重に審査を行い、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。また、新たに提出された陳情4件を審査し、2件を趣旨採択、残り2件を不採択と決定した。

◎ 県外調査

（8/8～10：大阪府、奈良県、和歌山県）

大阪府、奈良県、和歌山県を訪問し、PFI方式による美術館運営、不登校支援及び学校の働き方改革、政府機関の移転、データ活用センター等における統計資料等の活用策を調査した。

◎ 出前県議会・県内調査（8/24）

「地域と連携した『県民立』の美術館づくり」をテーマに出前県議会を実施し、関係団体等と意見交換を行った。また、県立博物館において「収蔵品の収納・管理状況及び今後の博物館の在り方」について、県立岩美高校において「地域特性を生かした県立高校の魅力化」について県内調査を行った。



鳥取県立美術館に係る出前県議会（倉吉市）

福祉生活病院 常任委員会

委員長



西村 弥子
(民主) 米子市

副委員長



河上 定弘
(自民) 米子市



内田 博長
(自民) 日野郡



興治 英夫
(民主) 倉吉市



市谷 知子
(無所属) 鳥取市



広谷 直樹
(自民) 岩美郡



福田 俊史
(自民) 八頭郡



島谷 龍司
(自民) 鳥取市



前田 伸一
(公明) 鳥取市

◎ 9月定例会審査結果（議案、陳情）

「シン・子育て王国とっとり」を更に進めるための男性育児休業取得や子育て応援駐車場整備への支援などを行う「令和5年度鳥取県一般会計補正予算（第4号）」など12議案について慎重に審議を行った結果、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。

また、私立中学高等学校教育の振興を図るため国庫補助制度の堅持と一層の充実を国に求める陳情について、「採択」と決定した。

◎ 県外調査（8/2～4：長野県、富山県）

長野県、富山県において健康長寿の取組、生活困窮者支援、児童養護施設との連携強化、介護送迎業務のデジタル化等、先進事例の調査を行い、知見を深めた。

◎ 出前県議会・県内調査（9/13）

出前県議会では、孤独・孤立対策について、ひきこもりやヤングケアラー支援団体、行政等が一堂に会し、活発な意見交換を行った。

また、脱炭素社会実現に向けた調査の一環として、可燃ごみ処理施設及びプラスチックごみリサイクル施設について県内調査を行い、知見を深めた。



生活困窮者へ配布する食料保管倉庫を視察（長野市）

※議案および請願・陳情の詳しい結果はこちらからご覧いただけます ⇒



自由民主党										会派民主						公明党			無所属					賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果					
広谷直樹	島谷龍司	斉木正一	福田俊史	内田博長	内田隆嗣	浜田一哉	鹿島功	安田由毅	野坂道明	浜崎晋一	村上泰二郎	西村弥子	坂野経三郎	浜田妙子	尾崎薫	興治英夫	伊藤保	前田伸一	前原茂	銀杏泰利	前住孝行	山川智帆	福浜隆宏					市谷知子	藤縄喜和	松田正		
議案に対する賛否																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	31	1	32	可決	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	31	1	32	可決	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	31	1	32	可決	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	31	1	32	可決	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	31	1	32	可決	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	31	1	32	可決	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	除	欠	28	3	31	可決
委員長報告に対する賛否 ※請願・陳情への賛否ではありません																																
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	31	1	32	不採択	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	○	欠	23	9	32	不採択		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	○	欠	23	9	32	不採択		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	31	1	32	不採択		
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	31	1	32	趣旨採択		

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。
…請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

議案等番号	件名	議決結果
②④	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立鳥取砂丘こどもの国（チュウブ鳥取砂丘こどもの国））について	可決
②⑤	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立氷ノ山自然ふれあい館）について	可決
②⑥	公の施設の指定管理者の指定（天神川流域下水道）について	可決
②⑧	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立大山青年の家）について	可決
②⑨	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立船上山少年自然の家）について	可決
③⑩	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立生涯学習センター）について	可決
③①	公立大学法人公立鳥取環境大学第3期中期目標の制定について	可決
③②	令和4年度鳥取県天神川流域下水道事業会計決算の認定について	継続審査
③③	令和4年度鳥取県営企業決算の認定について	継続審査
③④	令和4年度鳥取県営病院事業決算の認定について	継続審査
③⑤	職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び県費負担教職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決
③⑥	鳥取県公安委員会委員の任命について	同意
①	鳥取県議会の綱紀粛正に関する決議	可決
②	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けた気運醸成に係る決議	可決
③	森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書	可決
⑤	ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）に対する適正な診療上の評価等を求める意見書	可決
⑥	私学助成の充実強化等に関する意見書	可決
陳情5年-22	少人数学級を実現し、現在1学年3学級以下の県立高等学校の学級数を維持することについて	趣旨採択
陳情5年-24	私学助成に関する意見書の提出について	採択

※議案の詳細はこちらからご覧いただけます ⇒



議案等番号	件名	議決結果
①	鳥取県議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決
②	鳥取県政務活動費交付条例の一部を改正する条例	可決

令和5年9月定例会付議案等議決結果

賛否が分かれた議案及び否決された議案

議案等番号	件名	自由民主党						
		語堂 正範	東田 義博	入江 誠	河上 定弘	鳥羽 喜一	川部 洋	中島 規夫
④	鳥取県特定個人情報の利用及び提供に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○
⑬	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立武道館）について	○	○	○	○	○	○	○
⑲	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立倉吉体育文化会館）について	○	○	○	○	○	○	○
⑳	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立鳥取産業体育館及び鳥取県営鳥取屋内プール）について	○	○	○	○	○	○	○
㉓	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立布勢総合運動公園（ヤマタスポーツパーク））について	○	○	○	○	○	○	○
附帯意見	（議案第11号～第30号関係）指定管理者更新に係る適切な競争環境の確保に関すること	○	○	○	○	○	○	○
④	地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○
⑦	藤縄喜和議員に対する辞職勧告決議	○	○	○	○	○	○	○
議案等番号	件名	委員長報告						
陳情5年-20	鳥取県において頻発する個人情報漏えい事案の再発防止について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情5年-21	ガソリン価格の高騰に係る意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情5年-23	健康保険証の継続を求める陳情－「保険診療を受けられない人」を作り出す健康保険証廃止は撤回を－	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情5年-25	消費税増税に反対する意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○
陳情5年-26	地方財政の充実・強化を求める陳情	趣旨採択	○	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案
 賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長、「除」除斥、「欠」欠席
 ※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

全会一致で議決された議案

議案等番号	件名	議決結果
①	令和5年度鳥取県一般会計補正予算（第4号）	可決
②	令和5年度鳥取県営電気事業会計補正予算（第1号）	可決
③	令和5年度鳥取県営病院事業会計補正予算（第2号）	可決
⑤	鳥取県旅館業法施行条例の一部を改正する条例	可決
⑥	鳥取県市街化区域と一体的な地域等に係る開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑦	鳥取県営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑧	鳥取県被災者住宅再建等支援条例の一部を改正する条例	可決
⑨	工事請負契約（県道若桜下三河線（岩屋堂工区）トンネル工事（不動院岩屋堂トンネル）（交付金改良））の締結について	可決
⑩	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	可決
⑪	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立夢みなとタワー）について	可決
⑫	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立県民文化会館（とりぎん文化会館））について	可決
⑬	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立童謡館）について	可決
⑭	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立米子コンベンションセンター）について	可決
⑮	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立倉吉未来中心）について	可決
⑯	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立人権ひろば21）について	可決
⑱	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県営ライフル射撃場）について	可決
㉒	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立障害者体育センター）について	可決
㉔	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立むきばんだ史跡公園）について	可決
㉕	公の施設の指定管理者の指定（鳥取県立福祉人材研修センター）について	可決

令和5年8月臨時会付議案等議決結果（全会一致で議決された議案）

議案等番号	件名	議決結果
①	専決処分の承認について （1）令和5年度鳥取県一般会計補正予算（第3号）	承認

令和5年度 高校生議会



(質問順)

今年で13回目となる高校生議会が8月1日に開催され、指導役の県議会議員と質問作成を進めてきた県内8校16名の高校生が参加しました。この取組は、開かれた議会を目指す議会改革の一環で、若者に県政への関心を高めてもらうことを目的に実施しています。

参加した高校生は、手話言語の普及や人口減少対策、通学時の安全対策など日常生活から感じた課題をテーマに、自らの実体験などを交えた政策提言を行い、知事、教育長らと活発な論戦を交わしました。

これに対し、県執行部からは、地域と連携しながら取り組んでいくなど、前向きな答弁があり、次世代を担う高校生たちの声を県政に届ける貴重な機会になりました。

詳細はこちら



高等学校名	生徒氏名	質問項目
鳥取聾	鯉口 悠生	鳥取県手話言語条例制定から10年を経た成果と課題～今後のビジョンを考える～
倉吉東	筏津 淀瀬 乙天 英	鳥取県立美術館の方策と未来
八 頭	豊田 琴音 福山 結菜 林 幸慧	看護人材の確保と地域包括ケアシステムの構築について
米子西	木下 紗弓 三澤 恭陽 大野 達也	歩行者と自転車の通行区分の分離について
米子北	藤原 愛伽 青戸 心花	幅広い世代に向けた人口減少対策、将来の世代に向けて～子育て・SNS・地域の観点からみる～
鳥取東	松田 千尋 森本 雅子 竹内 快	鳥取県内の教育現場の改善について
米子南	水沢 滯音	境港市竹内団地及び近隣の施設整備と観光振興策について
鳥取西	落合 隼	ヘルメット着用義務化に対する県の姿勢

information

県議会からのお知らせ

11月定例会の日程案

期 日	日 程
11月29日(水)	本 会 議(開会・提案理由説明)
30日(木)	常任委員会
12月 1日(金)	本 会 議(代表質問)
5日(火)	本 会 議(一般質問・質疑)
6日(水)	
8日(金)	
11日(月)	
13日(水)	常任委員会
14日(木)	
18日(月)	特別委員会
19日(火)	本 会 議(採決・閉会)
20日(水)	

※ 日程は変更の可能性があります。

※ 午前10時開始の予定です。

パソコン・スマートフォンでご覧いただけます

本会議、常任委員会、特別委員会などの生中継と録画中継のインターネット放送は、パソコン・スマートフォンからご覧いただけます。

また、本会議はケーブルテレビでもご覧いただけます。

鳥取県議会ホームページは
こちらから→



みなさまへ

ひとり1時間超にも及ぶ一般質問。わずか221文字以内の原稿に集約せざるを得ない各議員は四苦八苦。それだけに広報委員は、答弁の曲解や誤解を生む表現がないよう修正を求めることも再々あります。公正＆県民のご理解こそを判断基準に…。 (広報委員 F)

発行日/令和5(2023)年12月1日

編集・発行/鳥取県議会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220

☎0857-26-7460 FAX0857-26-7461 e-mail : gikaisoumu@pref.tottori.lg.jp